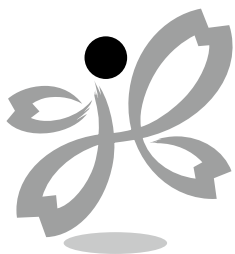


令和5年10月
第37号

北本市民生委員・児童委員協議会発行

事務局 北本市福祉部共生福祉課

やさしい心でふれあいの輪



きたもと

目次

- 3……民生委員・児童委員とは？
- 4～7…北本市民生委員・児童委員協議会活動報告
- 8……北本市地域包括支援センターをご存知ですか？

共生、地域における助け合い

北本市民生委員・児童委員協議会

会長 熊木庄吾

昨年12月の一斉改選により、151名のうち144名の民生委員・児童委員（以下、民生委員）が委嘱されました。新しい仲間との出会いに、期待を抱きながらお互い尊重し支えあう活動しやすい環境づくりをしています。改めて、適任者をご推薦いただいた自治会長をはじめ、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

あと7名の欠員があります。埼玉県民生委員・児童委員協議会の地区民児協支援部会でも欠員問題が取り上げられております。今後は民生委員の担い手が不足する中、自治体などが業務の負担軽減や人材確保に知恵を絞ることが必要ではないでしょうか。

さまざまな取り組みが社会に向けて発信される昨今、民生委員も地域の人たちと楽しみながら、「委員活動のしやすさ」や「なりて不足の解消」につなげていく事を考えなければと感じます。

新型コロナウイルスの影響で社会は大きく変わりました。民生委員にとっては、活動が困難を極めたのではないのでしょうか。コロナ禍でも地域住民にとっての身近な相談相手という民生委員の役割は変わることではありません。

仏教の教えで、「自利と自他」という言葉があります。これからは、自分の事より自分と他人が共生していくことが理想であると言っています。

超高齢社会・人口減少が進む中、近隣同士のつながりの希薄化は深刻な状況です。これからは地域における助け合いの心が大切になっております。民生委員は、地域の方々の様々な声に耳を傾け、誰もが安心して住み続けることができる地域福祉の一端を、皆様とともに担っていききたいと思います。

令和5年度

上半期事業報告

4月

合同定例会

総会

5月

民生委員・児童委員の日

6月

福祉支援票の作成

下半期事業計画

10月

広報誌「ふれあい」発行

12月

歳末たすけあい援護金の
配付

民生委員・児童委員とは？

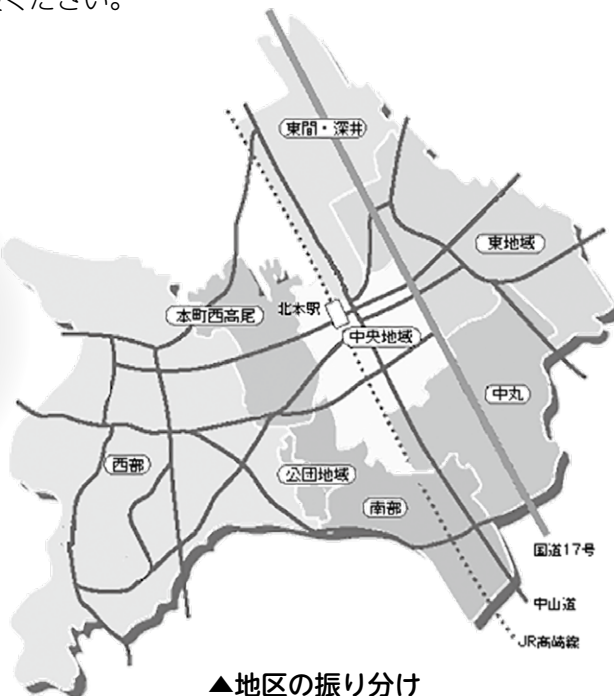
日常生活の中で、心配事や困りごとがあるけれど、「相談する相手がいない」「誰に相談すればいいかわからない」ということはありませんか？

そんな時、身近な相談相手となり、皆さんと行政や専門機関とをつなぐパイプ役となるのが民生委員・児童委員です。

- 身分としては、厚生労働大臣に委嘱された非常勤特別職の地方公務員です。給与は支給されず、交通費や通信費などの実費部分を活動費として支給されているボランティアになります。
- 民生委員は児童福祉法により児童委員も兼ねており、子どもから高齢の方まで多くの相談を受けます。民生委員・児童委員は相談内容の秘密を守ることが法律上義務付けられているため秘密が漏れることはありません。安心してご相談ください。

民生委員・児童委員のマーク

幸せのシンボルである四つ葉のクローバーの中に、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。



担当の地区は どうなっているの？

民生委員・児童委員は市内を8つに分けて単位民生委員・児童委員協議会を組織しています。市内には135名の民生委員・児童委員と16名の主任児童委員がおり、福祉の推進のために日々活動しています。

▲地区の振り分け

～こんなとき、ぜひ民生委員・児童委員へご相談ください～

暮らしの不安

ひとり暮らしでさみしい
もしもの時に不安
災害時の避難が不安
生活費のこと



子育てのこと

子育てのことを相談できる人がいない
子育てがうまくいなくて不安
子どもが学校へ行きたがらない

介護のこと

介護サービスを受けたいが、よくわからない
家族の介護で悩んでいる



福祉サービスのこと

困っているけど、どこに話せばいいかわからない
障がい者手帳を申請したい
どんなサービスがあるか知りたい

お住まいの地域の民生委員・児童委員、主任児童委員がわからない場合は、共生福祉課地域福祉・監査担当（電話 594-5534）へお問い合わせください。

中丸地区

民生委員・児童委員15名
主任児童委員 2名

活動紹介 鈴木千恵子

中丸地区では、東小、中丸東小と連携して「あいさつ運動」を実施しています。

また、子育て支援として「幼児訪問」や「親子のミニ運動会」を実施し、お母さん達とのつながりも大切にしています。

さらに、年々高齢世帯が増加しているため、安心して暮らせるようつなぎ役として安否確認にも積極的に取り組んでいます。見守りが難しいケースもあるので、住民同士支え合いながら、気づいた事があったら小さな事でも情報をいただけるよう声がけしています。

11月には社会福祉協議会・中丸支部の、お年寄りを対象とした「ふれあいの集い」へのサポート役として活動し、いろいろなイベントを通じて、参加者の方から「久々に友達に逢えて嬉しかった」とお聞きし、交流の場の必要性を改め



て感じました。参加者は220名でした。
社会が複雑に変化していく中で、身近な相談相手として見守っていく事を心がけていきたいと思っています。

中央地域地区

民生委員・児童委員25名
主任児童委員 2名

活動紹介 池田澄子

コロナ禍、民生委員・児童委員となりましたが、やっていけるかと不安でした。前任者と挨拶回りをしたとき、地域の高齢者の方々と笑顔で話される姿は羨ましくも思いました。

地域の清掃活動、夏祭り、運動会などの行事も行われず、十分に地域の方々とふれあう機会はありませんでしたが、外へ出て行くことに消極的であった方に、勇気をもって「こんにちは」「お元氣でしたか」と少しずつ声かけができるようになりました。「見守る」とまではいきませんが、何か気になってしまうことや放っておけないと思うことを具体的に、早期に行政や地域包括支援センターなどの関係機関と共有を図るようにしました。

今年、高齢者についての講義を受ける機会もあり、勉強になり



ました。また、私にとっては、月一回の定例会で他の委員の見守りの実践を聞くことが大変参考になります。そこで、地元自治会長と話し合い、災害に対する体制を整えました。「備えあれば憂いなし」ということです。
小学生の下校時の見守り当番を、月に3、4回おこなっています。その時、通学路の白線が消えていることや道路沿いの草が子どもたちの背丈まで伸びて困っていることに気が付いたので、対処していただきました。
今後も、地域の「つなぎ手」として、がんばりたいです。

東地域地区

民生委員・児童委員13名
主任児童委員 2名

活動紹介 関口 誠

私の担当地区であるマンションは新築から32年が経過しており、他の地区同様に高齢化に直面しています。またマンションの特性として入居した世代が比較的まとまっていて、現在は60代以降の世帯構成が非常に高くなっています。

コロナ禍以降の民生委員・児童委員としては、高齢者宅への戸別訪問や外出時での声かけを中心とする見守り活動を地道に継続していくことが基本であると思い、活動しています。

数年前にひとり暮らしの80代高齢者が自宅で倒れ、意識ははっきりしていましたが、体を全く動かすことができず、外部への通報も一切できない状態に陥りました。幸いにもお隣りの方が、新聞受けに3日程、新聞が溜まっているのを不審に思い、マンション管理人

に連絡。その後すぐに救急車の出動を要請し、救助することができました。

後で聞くとところによると、高層階で玄関ドアが施錠されていたため、レスキュー隊員の方が、ベランダ側から部屋に入ったとのことでした。

このような極端な事例はまれなことだと思いますが、お隣りの日常生活での気付きが人命救助につながったのだと思います。改めて「お隣り」の力がいかに大切かを痛感しました。

ひとりの民生委員・児童委員の力は微力ですが、あたたかい目で「お隣り」を見守る力の輪を地域全体に広げられるよう、これからも活動していきたいと思えます。



東間深井地区

民生委員・児童委員17名
主任児童委員 2名

活動紹介 服部 玲子

東間深井地区では、深井にあるお寺、壽命院さんが立ち上げた「フードパントリーことぶき」のサポートをおこなっています。

(壽命院さんは、昨年4月から「地域に根ざした場」「開かれたお寺」をとの思いから、毎月(第2火曜日)この活動を続けておられます。)

品物の仕分けから始まり、受付、お渡しまで、当初は時間のかかった作業もありましたが、今ではみんな協力してスムーズにできるようになりました。また、品物をお渡しすることと併せて、話せる場を作る事で「声かけ」や「見守り」にもつながり、大切な活動のひとつになっています。

支援物資については、社会福祉協議会に加え、近隣の農家さんから新鮮な野菜提供もあり、皆さんの協力があるからこそ出来る事を

実感しています。

また、フードドライブ(余っている食品を寄付する活動)の必要性、そして地域のつながりの大切さを改めて感じます。

今後は、フードパントリーやフードドライブへの協力を通して、支援を必要としている方へ届けられるよう、活動を継続していこうと思っています。



「サロンに参加してみたい!」など興味のある方は、地区民生委員・児童委員または共生福祉課へお問い合わせください。

南部地区

民生委員・児童委員17名
主任児童委員 2名

活動紹介 井上里絵

南部地区では民生委員・児童委員、南部公民館の共催で毎月第2月曜日に「親子ほっとサロン」を開催しています。

0歳児から未就園児の親子を対象としたサロンで、平成15年からスタートし、今年で20年になりましたが、夏祭りやクリスマス会、講師の方をお招きしてのリトミックやフラダンスなどを行っていています。南部地区以外にお住まいの方も参加でき、子育て中のお母さんがほっと出来る場になるよう心掛けています。

共働き家庭が増えたことから、月齢の低いお子さんを保育園や幼稚園に預けるようになり、「親子ほっとサロン」にお越しいただける親子の方が減少しているのが現状です。

今後、参加人数を増やす為には、今の親子世代のニーズに合ったサ

ロン活動をしていく必要があると思います。



本町西高尾地区

民生委員・児童委員21名
主任児童委員 2名

活動紹介 宇田川成子

こんにちは。大ベテランから新人さんまで思ったことが何でも言える和気あいあいとした雰囲気の本町西高尾地区です。

失敗ばかりの私ですが、周囲の方々の適切な助言と励ましで今日に至ることができました。これからも地域の声を聞きながら、お役に立てるように勉強を重ねていきたいと思っています。

① 私達の自主活動

①「いこいの家」の洗濯物整理を当番で月2回木曜日におこなっています。あまりにも量が多いため、二人から三人に変更になりましたが、地域の老人保健施設の実情を知る良い機会と捉え、頭と体をフルに使って楽しみながらお手伝いをしています。

② 二期が始まる前、新一年生の家庭訪問が始まります。主任児

童委員とお宅に伺います。一期が終わっているのですが、本人も不安気だったのがうそのようだったりして、こちらもホッとします。通学路のこと、学校生活のことで学校に伝えたい事などをお聞きし、内容によっては学校に伝えます。

③ 8月に絵手紙を作成し、9月に配布します。昨年は80歳と85歳の方々に229枚を配布しました。皆で集まり、やった事のある人もない人も知恵を絞って描くのですが、思わぬ発見があったり、と楽しい(苦しい?)ひとときです。夏の暑い盛りをやり過ごした地域の方々へ、ほんの気持ちのプレゼントです。



西部地区

民生委員・児童委員17名
主任児童委員 2名

活動紹介 矢部 恒治

西部地区では、社会福祉協議会・西部支部などと協力して、さまざまな活動を行っています。

子育て世帯支援として「しゃべり場へどうぞ」や「どんぐりっ子集まれ」などがあります。音楽に合わせてダンスをしたり、オモチャなどで遊び楽しみます。また、勉強やゲーム等々、皆でわいわいと賑やかです。

次に高齢者支援として「にこにこカフェ」や「シニアサロン」があります。「にこにこカフェ」では、スタッフによる紙芝居や手品などで盛り上がり楽しく笑顔の絶えないひと時となり、また「シニアサロン」では、誕生会や健康体操、脳トレなどの内容により人との輪を大切に充実した時間となっています。特にフロアーカーリング競技は、イキイキと参加していただきました。

そして、コロナウイルス感染症のため中止となっていたコミュニティまつりが三年ぶりに開催されました。今では懐かしい紙芝居や百歳音頭に参加することができました。

民生委員・児童委員として様々な活動のお手伝いをさせていただき、たくさんのお事を学ぶことができました。

今後皆様と一緒に楽しみながら、地域活動の輪を大切に参画していきたいと思っております。



公団地域地区

民生委員・児童委員10名
主任児童委員 2名

活動紹介 黒田真理子

公団地域地区は少人数ですが、自由な発言ができる風土があり、団結力はひとつの強みだと思います。

これまで毎年5月には、民生委員・児童委員の強化週間にちなみ、栄小学校（2021・3・31閉校）の校門の前で「朝の挨拶運動」を20年以上続けていました。

石戸小学校と合併になってからも「登・下校見守り」として活動は継続しています。

通常は1ヶ月に1回位で当番にあたるのですが、5月だけは、強化活動の一環として毎週全員で当番をしました。

テレビ等で「少子化」という言葉は耳にしていますが、民生委員・児童委員の活動を通して実感し、自分の子供が通った小学校がなくなってしまう事に寂しさを感じます。

コロナ禍も終わりつつありますので、今年からは、今まで通りとはいかなくとも、色々な活動が徐々に戻ってきます。

公団地域地区は現在、民生委員・児童委員の委嘱人数が定員割れをしています。皆で協力し頑張ってください。



「サロンに参加してみたい！」など興味のある方は、地区民生委員・児童委員または共生福祉課へお問い合わせください。

北本市地域包括支援センターをご存知ですか？

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、必要な援助・支援を行う地域の総合窓口です。専門知識を持ったスタッフが、介護・医療・福祉のさまざまな面から皆さんをサポートします。

市内に4カ所あり、お住まいの地域によって担当するセンターが異なりますのでご注意ください。



○東センター

住所：宮内1-120 勤労福祉センター内
TEL：591-0211

○西センター

住所：本町6-232 いこいの家内
TEL：591-3495

○きたもと寿苑

住所：二ツ家3-113-3 きたもと寿苑内
TEL：590-1000

○北本社協

住所：高尾1-180 総合福祉センター内
TEL：590-4011



【開設時間】月～土曜日(国民の祝日を除く)

午前8時30分～午後5時15分

来所される場合は事前に電話でお知らせください。

北本市民生委員・児童委員協議会

会長 熊木 庄吾
副会長 小口 恵美子
副会長 諏訪 千加子

～広報委員会～

中丸地区 竹内 満恵
中央地域地区 高橋 理恵子
東地域地区 内田 明子
東間深井地区 大竹 郷美
南部地区 井上 里絵
本町西高尾地区 今井 博昭
西部地区 千葉 麗子
公園地域地区 角田 かすみ

表紙：吉野 由夏

編集後記

「新型コロナウイルス感染症」もやっと下火になり、各地区の民生委員・児童委員の活動も過去3年間に比べ、しやすくなりました。

今回のテーマは「各地区の自主活動の紹介」ということで、市民の皆様と繋がる多種多様な活動をお知らせできたことと思います。お子様からお年寄りまで様々



なふれあいを通じて、地域の皆様に寄り添っていければと思います。

(竹内満恵)